

# あらき ニュース

Ryusho Araki News

〈臨時号〉

2017年 4月

緑の党  
グリーンズジャパン

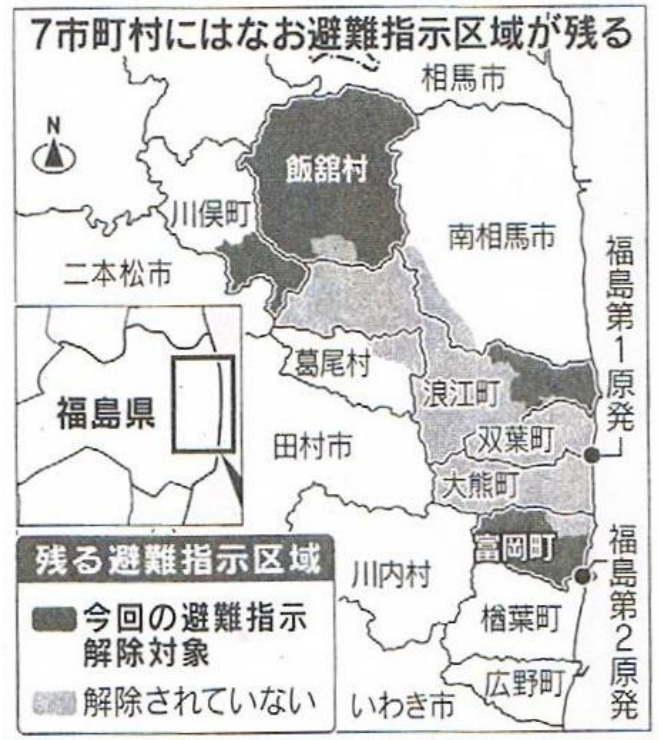
発行: 福岡市議会議員 荒木龍昇



## 福島原発事故から6年、事故は収束していない

福島原発事故が起こって6年を迎えましたが、避難者はいまだに10万人ほどいると言われています。3月31日をもって新たに浪江町、富岡町、飯館村が避難指示解除されましたが、まだ多くの地域が帰還困難地区で残っています(右図)。また解除された地域でも、国の基準は放射能被曝量が「年間20ミリシーベルト以下」となっているため、健康の不安が多く、特に子育て世代の帰還が少なくなっています。一般の人が平常時に受ける放射線の被曝量は年間1ミリシーベルト以下が望ましいとされ、また一般の人の立入が禁止される放射線管理区域は毎時0.6マイクロシーベルト(年間5ミリシーベルト程度)となっており、現在の国の基準は健康上心配があります。特に乳幼児や成長の子どもに対しては成人以上に強く影響を受けると考えられるため、より心配です。

放射能汚染地域では除染作業が行われ、汚染レベルが下がっていますが、問題は多く残っています。一つは除染のあり方です。二つは除染した廃棄物の処理の問題です。



除染される区域は住居とその周辺20メートルの範囲、畑とその周辺20メートルの範囲、道路と道路の周辺20メートルの範囲までで、森林地域は原則除染しません。除染は原則1回のため、放射能汚染物質は風や雨水などで移動することになります。一方、コンクリートでは放射性物質が結合し、表面を削っても除去は難しいようです。昨年7月に浪江町駅前を視察し、除染後の駅前のコンクリート製の歩道を簡易測定したところ、毎時2.5マイクロシーベルトでした。除染後も不安を持つ方が多いのも理解されます。

除染後の処理の問題です。大量に出た汚染物質は処理が進まず、今も山積みになっている状態が続いています。

中間貯蔵施設の予定地が大熊町と楢葉町にまたがる地域に決まりましたが、まだ目途は立っていません。また、これまで汚染土壌については加熱処理などして、放射性物質を気化して放射性物質を減らしたものを堤防や道路の材料に再利用する計画が進められており、これも問題があります。

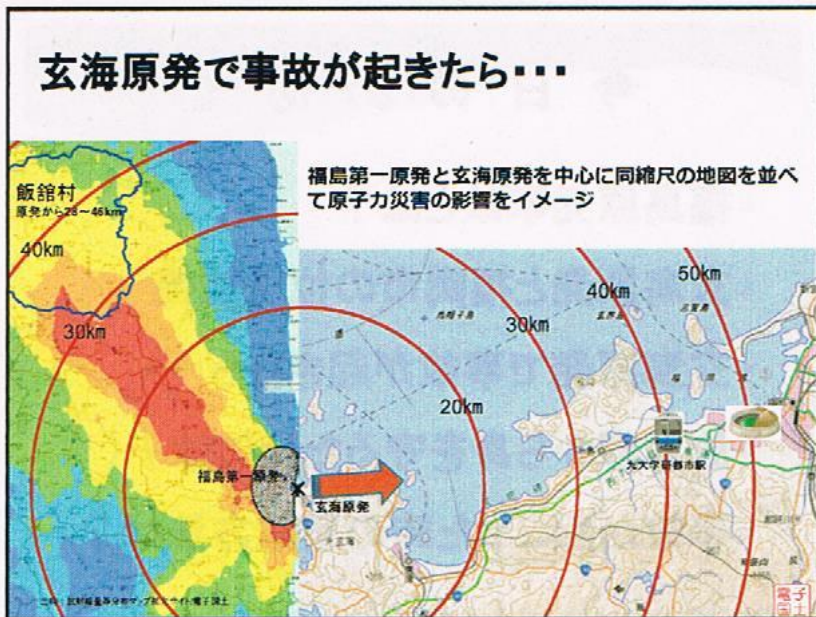


# 原発をやめて安心の社会を 玄海原発は廃炉に！

チェルノブイリ原発事故は1986年に起こりましたが、いまだに住めない地域が広くあり、健康被害も続いています。福島原発事故でもまだ収束の見通しはなく、福島県の子どもの甲状腺ガンは184人を超えています。いまだに10万人の方が避難生活を強いられ、帰還困難地区が残っています。

福岡市は玄海原発から37kmから60kmの範囲にあり、飯館村と同じような位置にあります。万が一にも原発事故が起これば、たちまち私たちの生活のすべてが奪われ、長期にわたり健康被害を心配しなければなりません。

玄海原発が再稼働すれば、私たちはいつも原発事故を心配しながら生活をしなければなりません。し



かも事故を想定した避難計画をつくる必要がありますが、十分な避難計画にはなっていません。福岡市の避難計画は事故が起これば原則「屋内退避」です。放射能の雲が通り過ぎるまで屋内にいて、隙間を目張りし、換気扇を止めて外出しないというような計画です。また天候によっては雨で放射性物質が降下し、ホットスポットという汚染地帯になります。そのようなときは直ちに他の地区へ避難しなければなりません。2次避難の計画はありません。被曝による甲状腺ガンを防ぐための安定ヨウ素剤についても、50キロ圏内の52万人分を用意する計画しかありませんが、全市民および市外からの来訪者分(通勤・通学・観光など)あわせて200万人分は用意すべきです。安定ヨウ素剤は1粒6円弱、200万人分でも1200万円程度です。いまの避難計画は「事故は起こらない」ことを前提にした計画で、不十分な計画と言わざるをえません。

自然災害は防ぐことはできませんが、人災は防ぐことができます。原発は動かさなければ事故は起こりません。電気は足りています。原発を動かす理由は九電の利益のためで、私たちが一方的にリスクを負わされています。国と九電による「住民説明会」が隣の糸島市では開催されましたが、福岡市では開催されていません。コストは新電力を含めた国民全体で負担する方針となっており、決して原発は「安い電気」でないことも明らかです。原発再稼働はさせない。廃炉にすべきです。福岡市に対して、玄海原発の廃炉と「住民説明会」の開催を求めていきましょう。

私の事務所の電気の契約を九電から、再生可能エネルギーに力を入れている新電力「みやまスマートエネルギー」に切り替えました。手続きは簡単です。メーターの「スマートメーター」への交換も、新電力に申し込みば自動的に交換してくれます。立ち合いも工事代も不要です。九電への解約手続きも新電力がしてくれます。ぜひ皆さんも切り替えを検討されてみませんか？

## 皆さまの声が届く議会づくりを目指しています。

- ・ぜひ、市政に関するご意見や、日頃の生活の中でお気づきのことなどお聞かせください。
- ・2016年の議会報告書(無料)を希望される方は、ご連絡ください。

あらき龍昇  
公式ウェブサイト

<http://www.araki-jp.com/>



あらき事務所

☎092-862-8980

〒814-0033 福岡市早良区有田5-17-7

FAX:092-862-8985 / Mail:f-lopas@hf.rim.or.jp

会派控室(市役所内)

☎092-711-4875 / FAX.092-733-5881

〒810-8620 福岡市中央区天神1-8-1 福岡市役所議会棟13階 緑と市民ネットワークの会

— このニュースは、議員活動の一環として、税金から賄われる「政務活動費」を用い発行しています —